

2013.09.17

「総理への直言 出版のご案内」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。今日は9月17日火曜日です。先程、「WiLL」の花田編集長に私の会館の事務所まで来て頂き、インタビューを受けました。何故かと申しますと、10月10日にイースト出版という所から、私の本がイースト新書という形で出版されます。題名は「総理への直言」です。その出版に際し、労を取って頂いた花田編集長に、9月26日に発売の「WiLL」に、私の本のことについて、インタビューを載せて頂けることになり、先程お話を致しました。実はこの本は、昨年の暮れに民主党政権が倒れるか、倒れないかという時に、「西田さん、一度あなたが思っていることを、1冊の本にしてみてもどうか。出版しましょうよ。」というお話が「WiLL」の花田編集長からありました。私も今年、改選のために様々な行事を行っていましたので、「出版記念会を行ってもいいかな。」と思い、3月ぐらいに出版記念会を行うことにしました。しかし、3月ぐらいに出版しようと思すと、年明けすぐに原稿をまとめておかねばならず、年末年始は毎日、ワープロで原稿を書いていました。そして、3月には出版できるように、原稿を出しましたが、花田編集長側のワック出版に様々な事情があり、ワック出版から出版されませんでした。選挙後に改めて、花田編集長からイースト出版を紹介して頂きまして、新書として出版することになりました。この本は1年前から書いてきたもので

すから、今思いますと少々時期的にずれている所もあります。しかし、言っている本質は今になっても変わっていません。私は申し上げたいことは、この 20 年間の自民党政権、そして、3 年 3 ヶ月間の民主党政権を含め、平成になってから様々な政治が行われましたが、それは、アメリカニズムに侵され、戦後の枠組みをより一層強める形で行われてきました。正に戦後の軛の中に自ら身を投じ、そのことを一顧だにせず、思考停止の社会になってしまいました。それが日本人の活力を削いできてしまった一番の原因だと私は考えています。そういったことを国民皆に知って頂きたいという思いで書きました。題名は「総理への直言」となっていますが。この題名は花田編集長に付けて頂きました。「総理への直言」と言いますと、非常におこがましい話になりますが、むしろ、本質は国民への直言であります。つまり、戦後の政治そのものをもう一度問い直し、国民の世論を正しくしなければ、安倍総理やどなたが総理になりましても、解決できないのです。日本人それぞれがもう一度「戦後や特に平成になってからの政治は、なぜこういう迷走をしてきたのか。」ということについて、確認し合い、反省し合い、もう一度その中から政治を動かしていこうという思いで書きました。本は 10 月 10 日にイースト出版から出版されます。既に、amazon では予約が行われていますので、今日は出版する本について皆様方にお知らせをさせて頂きました。是非、皆様方も予約や店頭で手に取って頂き、私が申し上げたいことを是非、ご理解頂きたいと思います。今日は 10 月 10 日にイースト出

版から出版される「総理への直言」の宣伝と、「総理への直言」についてのインタビューの内容が 9 月 26 日発売の「WiLL」に載りますので、皆様方にお知らせをさせて頂きました。是非、ご覧頂きたいと思います。

本日も御覧頂きありがとうございました。